

<地球温暖化対策> CO<sub>2</sub>換算温室効果ガス算定表 (令和6年度)

【施設名:水道事業所 除く】

対象ガスの種別	調査項目 (主要なもの) ◎:全て算定の対象 ○:自ら実施している場合算定の対象 △:可能な範囲で算定が望ましい	算定 必要 の 性	活動量	単位	排出係数	地球温暖化係数	CO <sub>2</sub> 換算 温室効果ガス排出量 (kg-CO <sub>2</sub> )				
							小 計	ガス種別計			
二酸化炭素 (CO <sub>2</sub> )	イ. 燃料 使用量 揮発油 (ガソリン) 灯油 軽油 A重油 B重油 C重油 液化石油ガス (LPG) 液化天然ガス (LNG) 都市ガス ロ. 電気使用量 チ. 一般廃棄物の廃 <sup>7</sup> う類の焼却量 リ. 産業廃棄物 廃油の焼却量 廃 <sup>7</sup> う類の焼却量	◎	12,369.1	L	×	2.32	×	=	28,696.196	1,871,974.928	
			34,139.0	L	×	2.49	×	=	85,006.160		
			2,461.6	L	×	2.58	×	=	6,350.902		
				L	×		×	=	0.000		
				L	×		×	=	0.000		
				L	×		×	=	0.000		
			12,296.6	kg	×	2.99	×	=	36,766.834		
				kg	×		×	=	0.000		
			180,704.0	m <sup>3</sup>	×	2.23	×	=	402,969.920		
			2,975,476.0	kWh	×	0.441	×	=	1,312,184.916		
				t	×		×	=	0.000		
				t	×		×	=	0.000		
				t	×		×	=	0.000		
				t	×		×	=	0.000		
メタン (CH <sub>4</sub> )	イ. ボイラー燃 料 使用量 木材使用量 木炭使用量 ツ. ガソリン 燃料 使用 量 航空機・自動 車・船舶以外 のガソリン機 関 灯油 軽油 A重油 B重油 C重油 液化石油ガス(LPG) 液化天然ガス(LNG) 都市ガス ナ. 自動車 の 走 行 量 (ガソリン・LPG) 普通・小型自動車 軽自動車 普通貨物車 小型貨物車 軽貨物車 特殊用途車 軽油 普通・小型自動車 普通貨物車 小型貨物車 特殊用途車	○	44,754.0	km	×	0.00001	×	=	12.486	54.251	
			23,294.0	km	×	0.00001	×	=	6.499		
			1,435.0	km	×	0.000035	×	=	1.401		
			28,409.0	km	×	0.000015	×	=	11.889		
			42,639.0	km	×	0.000011	×	=	13.086		
			3,283.0	km	×	0.000035	×	=	3.206		
			2,778.0	km	×	0.000017	×	=	1.318		
			0.0	km	×	0.000015	×	=	0.000		
			1,762.0	km	×	0.0000076	×	=	0.374		
			11,008.0	km	×	0.000013	×	=	3.993		
	キ. 下水終末処理場での下水処理量	○		m <sup>3</sup>	×		×	=	0.000	530.847	
	ユ. 一般廃棄物 焼却量(準連続燃焼式)	○		t	×		×	=	0.000		
		○		t	×		×	=	0.000		
	イ. ボイラー燃 料 使用量 木材 木炭 B重油 C重油	○		kg	×		×	=	0.000		
			kg	×		×	=	0.000			
			kg	×		×	=	0.000			
			kg	×		×	=	0.000			
	キ. デバイス 燃料 使用 量 航空機・自動 車・船舶以外 のガソリン機 関 灯油 軽油 A重油 B重油 C重油 液化石油ガス(LPG) 液化天然ガス(LNG) 都市ガス		○		L	×		×	=		0.000
				L	×		×	=	0.000		
				L	×		×	=	0.000		
	L			×		×	=	0.000			
	L			×		×	=	0.000			
	L			×		×	=	0.000			
	kg	×			×	=	0.000				
	kg	×			×	=	0.000				
	m <sup>3</sup>	×			×	=	0.000				
	m <sup>3</sup>	×			×	=	0.000				
オ. 自動車 の 走 行 量 (ガソリン・LPG) 普通・小型・軽乗用車 普通貨物車 小型貨物車 軽貨物車 特殊用途車 軽油 普通・小型乗用車 小型貨物車 特殊用途車	◎	68,048.0	km	×	0.000010	×	=	185.771			
1,435.0		km	×	0.000035	×	=	13.711				
28,409.0		km	×	0.000015	×	=	116.335				
42,639.0		km	×	0.000011	×	=	128.045				
3,283.0		km	×	0.000035	×	=	31.369				
2,778.0		km	×	0.000017	×	=	12.893				
1,762.0		km	×	0.0000076	×	=	3.656				
11,008.0		km	×	0.000013	×	=	39.067				
		t	×		×	=	0.000				
		t	×		×	=	0.000				
	t	×		×	=	0.000					
ア. 一般 廃棄物 焼却量(連続燃焼式) 焼却量(準連続燃焼式) 焼却量(バッチ燃焼式)	○		t	×		×	=	0.000			
		t	×		×	=	0.000				
		t	×		×	=	0.000				
ハイドロフルオロ カーボン (HFC 13種 類) ※種類毎に集計	冷蔵庫・ エアコン	ニ. 封入量 (漏洩事故による排出量)	○		kg	×	×	=	0.000	0.000	
		ホ. 廃棄時 (廃棄量)	○		kg	×	×	=	0.000		
	カー エアコン	ト. 使用時 (1年間換算の使用台数)	○		台	×	×	=	0.000		
		チ. 廃棄時 (廃棄量)	○		kg	×	×	=	0.000		
							総 計	1,872,560.027			

【令和6年度 CO<sub>2</sub>換算温室効果ガス排出量の評価と今後の方針】  
都市ガス及び液化石油ガスの使用量増加により、温室効果ガス排出量は全体として増加する結果となった。  
一方で、自動車の走行距離の一部減少や灯油使用量の減少、公共施設や学校等への給水スポットの設置など、一部の分野では使用量削減の取組が進んでおり、個別には排出抑制の成果も見られる。  
施設の稼働状況の変化やエネルギー使用形態の変化に伴い、エネルギー使用量が増加する傾向が見られたが、今後はこれらの運用面の改善に加え、電気使用量の削減及び都市ガスの効率的な利用を中心に、さらなる排出量削減に取り組む必要がある。